

第 12 回月例会（北東アジア地域研究会・国立民族学博物館拠点）

第 12 回月例会を平成 29 年 7 月 13 日に国立民族学博物館内で開催いたしました。本会には館内の構成員 6 名のほか、外来研究員など 5 名が参加いたしました。

今回は本拠点構成員である岸上伸啓教授が「北太平洋沿岸における先住民社会と交易について―北太平洋地域の交流史の復元と同地域のグローバルヒストリーへの位置づけのための序論―」と題して発表いたしました。本発表は、北太平洋における毛皮などの先住民交易の歴史がロシアや中国、アメリカといった大国の経済とも関係し、北東アジアとそこに隣接するアラスカ、北米との繋がりが強いことを改めて認識させるものでした。

